

参加者

子ども家庭部：小野さん（子ども家庭支援センター長）、堀澤さん、北井さん

新宿連協：岡本・岩崎・渡辺・松久・渡邊

子ども家庭部より回答読み上げ

要望①-(1) 学校内学童クラブを児童館内学童クラブに近づけて欲しい

【岡本より】

・保育園の定員を増やしているという事は、今後の学童の需要も増えて行くと言う事と理解している。

今後の学童が心配である。またその点については要望の中でずっと言ってきたところ。

・毎月の運営委員会で参加者から出てくる話として最近目立って多いのが、職員の突然の退職が頻発していること。

職員の勤続年数も気がかりなことであり、今回資料として要望を出させて頂いた。

・児童館内学童と学校内学童の格差が明白な事も事実としてある。ほとんど同じ学校の子が利用しているにも関わらず、学校の管理運営上仕方ないのかもしれないが、制約が多く運営に支障が出ている。

子どもを通わせている保護者からすると、同じ学校内なので使わせてもらえたら良いのに、と感じる。事業者が学校に掛け合っても難しい。そこは担当課からの働きかけが大事だと感じている。

児童館内は児童館独自の予算がある。様々な行事があり、学童の子どもたちも利用できる環境にある。学校内とは大きく異なる。

イベントや児童館主催の遠足などもあるし、多彩な遊びがありうらやましい感じる。

児童館を作ることは大変だという事は理解しているが、学校内との格差を感じる。

【小野さんより】

小学校長会で話をしたが、学校に対する要望は全て児童館運営係が挙げることとなった。

事業者と学校ではなく、事業者から児童館運営係へ話が行き、児童館運営係が話を進める。

【岡本より】

図書室を利用したい、体育館を使わせてもらいたいという要望があると聞いている。全て開放でなくとも、限定的に利用できるようにはできないのか？学校と事業者の連携ではないのか？学校側に理解はあるのか？

【小野さんより】

教育委員会と協力していきたいと考えている。

学校サイドとしても、特別支援教室の広がり、児童数拡大により教室が足りていない現状がある。備蓄倉庫を縮小した学校もある。全ての授業が終わった後に学校教育に支障のない範囲で、そういう前提条件の中で、毎年追加の利用に関しては要望として挙げる。やみくもに貸してくれとは言えない。

【岡本より】

ひろばが始まった当初、学校側はひろばや学童に対する理解が低いと感じたが、時間が経ち「子ども達が元気に遊べる場が出来て良かった」と反応が変化した。しかし、まだ十分とはいえない。現場が要望した場合、学校への働きかけをお願いしたい。

要望①-(2) 適正な予算配分について

【岡本より】

学童の拡充は検討して頂けないのか？

【小野さんより】

さらに需要増が見込まれる地域（＝H27年度に機能付き始めたにもかかわらず近隣の学童が定員を越えているところ）での機能付きは開始1～2年なので、まだ様子を見る時期と捉えているが、対応したにもかかわらず引き続き定員を越えている学童については拡充も検討している。具体的には中町と本塩町。

中町：主に愛日小の児童が利用（定員40名に63名在籍）現在は仮校舎なので、移転後の動向も見ることがある。

本塩町：主に四谷小の児童が利用（定員25名に37名在籍）。四谷小自体は2クラス/学年。

もともと信濃町に通っている子が多かったが、学校に近い本塩町に通う子が多くなった。一方、信濃町学童は80名定員に対して56名で定員割れ。

学童拡充の検討は常にしている。

【岡本より】

定員超過には「ひろば」で対応し様子を見る」というのがこれまでの区への対応だったが、明確な基準がなく「いつまで様子見なのか？」と伝えていた。が、具体的に検討していることがわかり安心した。引き続き、拡充に向けて動いてほしい。

要望①-(3) 4年生以上への配慮・面積確保について

【岡本より】

4年生以上の待機児童問題がある。

専用スペースのことは言い続けたいといけない。

連協のFacebookでも取り上げているが、各自治体で面積の事、詰め込みの事は問題になっている。

要望①-(4) 指導員の入れ替わりについて

【小野さんより】

各事業者から担当課に人事異動については把握できるよう連絡させている。事業者から担当課にお伺いを立ててくることもある。プロポーザルと大きく違うことがあればどういった事が確認している。信頼厚い人が様々な事情で異動せざるを得ない場合もあるが、そういう事については再度検討してほしい、と担当課から伝えることもある。

【岡本より】

民間委託開始以来たびたび問題として取り上げてきたが、最近、保護者からの訴えが多い。指導員本人から「意図しない異動であった」と告げられ、動揺が生じたという話もある。

仕様書にも人の入れ替わりは少ないように記載があるが、ここはきちんと担当課で把握し指導を行ってほしい。

【小野さんより】

年度途中の異動は、ちょっとした躓きで保護者との信頼関係が難しくなってしまった指導員が異動したりすることはある。毎月本部から巡回指導している際に確認は行っている。

【渡邊より】

頂いた勤続年数の表を見ると受託年数が8年以上にも関わらず、平均勤続年数が2年を切っている所がある。

これは異常事態と言えるかと思うが、異動の理由を区は把握しているのかどういった事なのか、という状況把握してほしい。

【小野さんより】

受託年数が 20 年 30 年だから勤続年数が長くなるということはない。

職員の人材育成の観点から回していくことはあり得る事なので。

【岡本より】

学童単体ではなく、事業者ごとにみても、傾向が出てくる事もあるのではないか。

実際に保護者の中でも「事業者が〇〇だからね」と言う会話になる事もある。勤続年数が短い所は注視して行ってほしい。

要望①－(5)正午以降 4 時間の縛り撤廃、育児休業中の利用について

【小野さんより】

正午以降 4 時間の縛り撤廃も、育児休業中の利用についても要望については把握している。

要望①－(6) 料金の統一について

【小野さんより】

利用料：区として計算したものと、連協で計算したものが異なる。

【岡本より】

区が元とした計算式を、後日追加回答いただきたい。

要望② 学童クラブと放課後子どもひろばの違いの説明について

【岡本より】

第 2 回学校説明会は全員が来るものなのか？

【北井さんより】

8 月末～9 月までの学校公開で実施することが多い。各学校で説明に貰える時間はまちまち。

また、この説明会に来る人もそれほど多くはない。

【岡本より】

説明がなされるだけでも前進。以前は一切無かったので、保育園に入っていないと学童の情報が入らなかった。

要望②－(1) 学童機能付き名称変更について

【小野さんより】

以前“おちよんクラブ”など、各小学校毎に名称決めてもよいのでは、という意見もあった。

愛称を各学校で決めるのは良いけど、統一名称は必要。

“学童機能付き放課後子どもひろば”

名称については、アンケートで意見を募る予定。

【岡本より】

“学童”とついていることで混乱するので、つけないでいただきたい。

要望②-(2) ホームページ内の「ひろば」へのリンク移動について

【岡本より】

ホームページでは学童と同じ位置づけで、ひろばへのリンクがページ上部に貼り付けられている。別のものなのに、誘導しているように思える。一方、学童についての情報が少なく様子がわからない。

「こんなところだよ」という楽しい情報は区としてもアピール所だと思うが、そうっていない。

「ホームページを見ても分かりにくくて、知りたい情報にたどり着けない」と言う声を多く聞いた。大幅に改訂すべきでは。

【小野さんより】

区全体のページは専門業者だが、担当課ページについては職員。プロではない。今後は分かりやすくなるように変更する。

最後に参加した役員より

【岩崎より】

- 学校内学童は制約が多い。現状異なる。ただ入れればよいというものでは無い。育児休暇中の利用について『保護』が必要だからどうかじゃなくて、学童はもう一つの家。一連の育ちの流れがある。
- この回答は子どものことを考えていないと感じる。
- 学校の教室足りない小学校があるのであれば、学童の需要は増えるのも自明。新宿区では何十億もかけて学童を運営しているのだから、それを広めてほしい。ホームページでアピールしてほしい。

【渡辺より】

- 回答①－(3)に関して、『国の基準に近づけるように努める』、と書いてもらったのは良い。
 - 場所、広さ、児童の1単位の40名は守ってほしい。
- 大規模学童では子どものことを把握されていないという話も聞こえてくる。保育園も増やしている、働く女性が増えている、働き方も昔と変わってきている。子どもは子どもでストレス感じるだろうこともある。学童は社会の中で大事だと思う。

【小野さんより】

支援の単位は在籍児童数に配慮して数で配置している。新宿区は70名で見守るように歴史的にやってきたので、しかるべき時に基準に近づけるようにする。

【岡本より】

- 施設利用に関しては学童利用時に利用児童が居ない幼稚園のホールを活用するなど検討してほしい。
- 学校長が幼稚園の園長も兼務しているだろうから、校長会でも再度お願いして欲しい。

【小野さんより】

児童館と学校内それぞれメリットデメリットある。児童館はいったん外に出なければいけない。児童館もすみわけをしながら利用している。学校内学童クラブのデメリットはほかの部屋を使えるようにする事で解消する。小学校の人間関係で過ごせるのも学校内のメリット。

【松久より】

- 広いスペースの利用といわれても、学校施設としての制約が大きい。
- 同じ子どもたちが過ごす場所なので、急に校庭が使えないというのは子どもは理解できない。縦割り行政の弊害。教育委員会と相談してほしい。
- 小学校の人間関係で過ごせるのは表裏一体。学校で起きたトラブルをそのまま引きずって学童に持ち込んでしまう事もある。子どもたちが過ごせる多様性では児童館では負けている、と感じる。それを少しでも増やしてほしい、工夫してほしい、

【小野さんより】

職員配置の数があるから、このスペースが確保できればより良い運営ができるという場所があれば校長先生に相談している。